

事務事業名	防犯パトロール事業				担当	市民生活部 市民生活課 市民生活係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	9	防犯対策の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	13. 諸費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	地域における犯罪防止、犯罪の発生（発見）時に関係機関と連携を図り被害拡大防止に努め、市民の安全と安心に寄与するため、市内の公共施設を重点的に、青色回転灯搭載車により夜間巡回防犯パトロールを実施している。（警備会社委託事業） 市内の公共施設を3コースに分け、毎日2コースを午後5時から翌午前2時にかけて2台の青色回転灯搭載車に警備員が2名搭乗し巡回。 公園などの公共施設内の安全を確保するため、徒歩巡回を行いながら、滞在者等への声掛けや外灯等の防犯効果に影響がある設備等に異常はないか確認する。 平成30年度からは、市内の公共施設を4コースに分け、毎日1コースを巡回。午後5時から翌午前2時にかけて1台の青色回転灯搭載車に警備員が2名搭乗し巡回する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 青色回転灯搭載車による市内の公共施設の夜間巡回防犯パトロール、治安情勢に応じた防犯パトロール、地域の安全・安心に関する諸活動の実施（H29 2班体制実施していたが、H30 1班体制で実施） 31年度計画 30年度と同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	パトロール日数	日	366	365	365	365	365	
イ	パトロール対象公共施設数	施設	110	110	110	112	112	
ウ	滞留者等への声掛け件数（年度累計）	件	12,255	13,476	12,931	5,961	6,000	
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民 公共施設利用者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	市民の数（4月1日現在）	人	80,590	80,840	80,921	79,414	79,324	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 夜間巡回防犯パトロールの実施により、市民の防犯に対する意識の高揚を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	犯罪発生件数（真岡署管内）	件	901	821	643	599	540	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 犯罪の発生や被害拡大を防止し、市民が安全に安心して生活ができるようにする。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	真岡市で生活するうえで犯罪に不安を感じている市民の割合（市民意向調査）	%	53.6	54.3	51.2	54.3	51.0	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	24,624	24,624	24,624	16,071	16,220	
	事業費計(A)	千円	24,624	24,624	24,624	16,071	16,220	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	72	72	72	72	72
		人件費計(B)	千円	302	299	299	300	300
トータルコスト(A)+(B)		千円	24,926	24,923	24,923	16,371	16,520	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市民が安心して暮らせるまちづくりを展開するため、平成21年度より失業者の雇用対策事業として緊急雇用創出事業臨時特例基金を導入し開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	子どもや女性に対する声掛けや不審者の出没等が増加しており、安全確保のための活動が活発となっている。 平成24年度より一般財源により事業を継続している。 平成29年度より都市計画課管理の公園等70箇所に3年計画で、防犯カメラ190台の設置を予定しており、平成30年度より1班体制に規模縮小。 令和元年度でパトロール事業を終了する。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	公共施設の近隣住民より安心して利用することができるとの意見がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 防犯活動の推進は、安全安心のまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の防犯意識の高揚を図ることで、安全安心のまちづくりにつながる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 青色回転灯搭載車による夜間巡回防犯パトロールの実施により、防犯に対する市民の意識の高揚を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 犯罪の発生防止、被害の拡大を防止している。 市民が防犯体制の充実を実感できる事業である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 平成29年度より3年計画で、都市計画課管理の公園等70箇所に防犯カメラ190台を設置するため。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 平成29年度より都市計画課管理の公園等70箇所に3年計画で、防犯カメラ190台の設置を計画があり、犯罪やいたずら抑止につながるため、削減余地がある。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 平成29年度より3年計画で、都市計画課管理の公園等70箇所に防犯カメラ190台を設置するため。	(3) 改革・改善による期待成果																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							